



マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ・シニア

にほんちきゅうわくせいかぐれんどう

『JpGU(日本地球惑星科学連合) 2025年大会』



趣　　旨

シニア会員が同年代の生徒の研究発表に触れ、研究者や大学関係者等専門家と、議論・交流を図り、本大会への参加・発表を通じて、生徒たちが科学的理論に基づき深い思考を養う過程を経験し、未来を切り拓く人材を目指します。多岐にわたる分野の専門家の方々からの意見や助言を受けることにより、新たな知見と、広い視野と価値観を獲得するステップの場とするものです。

■日時:令和7年5月24日(土)・25日(日)　■会場:千葉県幕張メッセ国際会議場・展示場
参加者:シニア会員 4名・シニア会長・副会長・引率者3名　計9名

JpGU(日本地球惑星科学連合)とは

公益社団法人日本地球惑星科学連合(Japan Geoscience Union; 以下JpGU)は、地球惑星科学を構成するすべての分野及び関連分野をカバーする研究者・技術者・教育関係者・科学コミュニケーター、学生や当該分野に関心を持つ一般市民の方々からなる個人会員、地球惑星科学関連学協会を団体会員、事業を援助してくださる賛助会員から構成される学術団体、国内最大の学会です。連合大会での発表、研究テーマ毎に数件～数十件の発表からなる「セッション」と呼ばれるまとまりで行われます。連合大会では200以上のセッションが行われます。各セッションで行われる発表には口頭発表とポスター発表があります。本大会では「高校生によるポスターセッション」に挑戦しました。本セッションは、高校生が研究者や教員と議論・交流することを目的として開催されるものであり、今年度は、昨年度よりも多く、全国から127件の申し込みがありました。当クラブは2018年大会より参加しておりますが、ほとんどのグループが高校単位での参加であるのに対し、マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ・シニアは初めて八戸圏域の混合チームとして認められ、参加を続けています。今回は3校の高校の生徒が集まり大会まで学習と発表の練習を重ねてきました。大会までの取り組みについては次頁のとおりです。

マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ・シニア JpGU2025を目指して! 主な活動日程



●大会参加メンバー 【シニア会員4名】

すぎもと　の　杉本　よし堃さん　青森県立八戸高等学校　3年
かわぐち　けいじ　川口　慶治さん　八戸聖ウルスラ学院高等学校　2年
たいら　のぞみ　平　希望さん　青森県立八戸北高等学校　2年
いわおか　みさき　岩岡　美彩希さん　八戸聖ウルスラ学院高等学校　2年

【指導】

マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ
シニア会長　たかはし　あきら　高橋　晃　副会長　いのうえ　かんじ　井上　貫之

(講義場所:マリエント4階会議室)

- 講義　1回目10月　27日(日)
- 講義　2回目11月　　9日(土)
- 講義　3回目11月　10日(日)
- 講義　4回目11月　17日(土)
- 講義　5回目12月　22日(日)
- 講義　6回目　1月　11日(土)
- 講義　7回目　1月　13日(月)
- 講義　8回目　1月　25日(土)
- 講義　9回目　1月　26日(日)
- 講義　10回目　2月　　8日(土)
- 講義　11回目　2月　16日(日)
- 講義　12回目　2月　24日(月)
- 講義　13回目　3月　　2日(日)
- 講義　14回目　3月　　8日(土)
- 講義　15回目　3月　15日(土)
- 講義　16回目　3月　23日(日)
- 講義　17回目　3月　29日(日)

(野外活動:是川縄文館周辺)

- 講義　18回目　4月　　5日(土)
- 講義　19回目　4月　12日(土)
- 講義　20回目　4月　13日(日)
- 講義　21回目　4月　20日(日)
- 講義　22回目　5月　　3日(土)
- 講義　23回目　5月　10日(土)
- 講義　24回目　5月　17日(土)
- 講義　25回目　5月　24日(土)

大会へ向け出発

- 講義　26回目　5月　25日(日)

大会本番

3月29日(日)、是川縄文館周辺で野外活動を行いました。



JpGU2019年大会より、三陸ジオパークをテーマに学習を継続しています。2024年9月の巡検では、三陸ジオパーク認定ガイドから講義を受け、会員自らジオサイトとその周辺に出向き調査をするなどの活動を行いました。土日を中心に、マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ・シニア高橋晃会長、井上貫之副会長、よこは　かずひろ副会長による講義を実施しました。その学習の成果をポスターにまとめ、発表への準備を進めていきました。



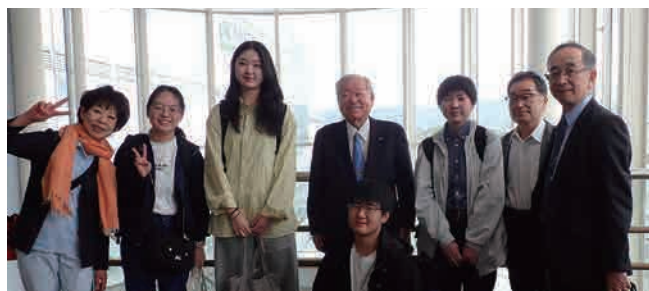
5月24日(土) 集合・出発

はちのへえき しゅうどう のち けんきゅう せいか かつよう そくしん はちのへしぎかい ぎいん れんめい かいちようおよ
八戸駅に集合の後、JAMSTEC研究成果活用促進八戸市議会議員連盟会長及びマリ
エント「ちきゅう」たんけんクラブ ジュニア・シニア・プラチナ 名誉会長 坂本美洋様
より出発するシニア会員のお見送りと激励の言葉を頂きました。

ちきゅう わくせい かがく れんどう い ちきゅう きぼ いじょう けんきゅうかい さんか
地球惑星科学連合と言うことですので、地球規模以上の研究会に参加できることに
誇りをもって臨んでください。高校3年間の思い出の一つに留めず、この機会をステッ
プに長い人生を充実したものにしたいと思います。今回の参加はそのための自信に
なるでしょう。世界規模の大会ですので、高校生で参加できることの意義は大きく、たん
けんクラブを始めとした様々なご縁により実現しています。なにより怪我の無いように、
そして楽しんで来て下さい。

5月24日(土)

8:15 八戸駅集合
8:53 八戸駅出発
11:44 東京駅到着
12:48 海浜幕張駅到着
13:00 昼食
14:00 ホテル到着
14:30 発表練習
16:30 夕食
17:30 自由行動
19:30 解散



JAMSTEC研究成果活用促進
八戸市議会議員連盟会長及び
マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ
ジュニア・シニア・プラチナ 名誉会長
坂本 美洋様



東京へ移動中も余念がありません!!



海浜幕張到着



海浜幕張へ移動中



昼食



ホテル到着

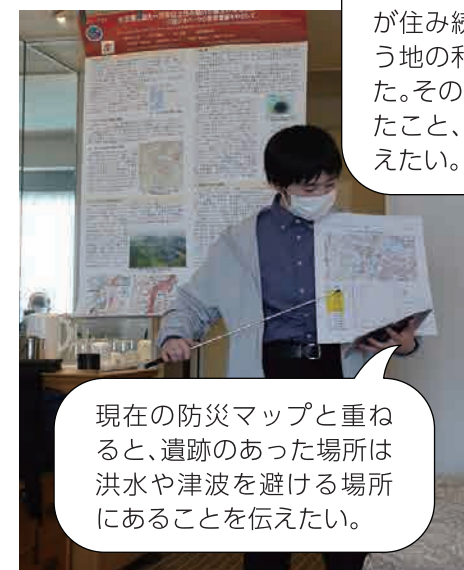


発表練習

とうちゃくご へや しゅうどう はっぴようれんしゅう おこな
ホテルに到着後、部屋に集合して発表練習を行いました。
やく じかん みじか じかん ぜんいん せま ほんばん じっかん
約1時間という短い時間ながら、全員迫る本番実感と
きんちょうかん も と く
緊張感を持って取り組みました。



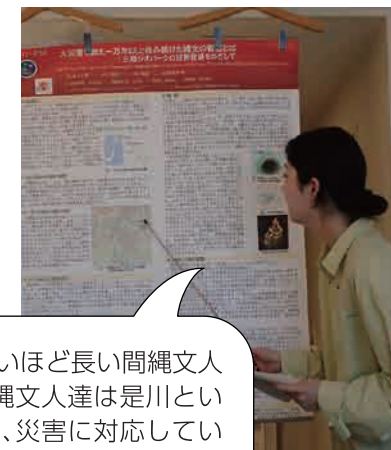
是川遺跡の上流部と下流部に氾濫
原があること。火山の影響があり、
火山のテフラ(火山噴出物)などに
ついて伝えたい。



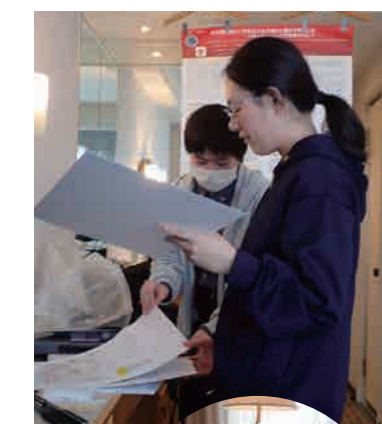
是川の地で想像のつかないほど長い間縄文人
が住み続けていた。その縄文人達は是川とい
う地の利を理解しており、災害に対応してい
た。その中で助け合い(共助)の精神が育まれ
たこと、合掌土偶として形に現れたことを伝
えたい。



井上先生
三陸ジオパークには世界
遺産に相応しい価値があり、そこに縄文人の智慧を
プラスすることを伝えま
しょう。タイトルの「智慧」
には真理に迫るという意
味もあります。命がけで災
害と向き合った縄文人た
ちから学んだという思
いが込められています。



遥か昔の縄文人も災害に対し
てしっかりと対応していたこ
と、環境に応じて生活の形を変
えていたことを伝えたい。



みな じしつ もど あと じぶん ちから だ き く かえ れんしゅう
皆さん自室に戻った後、自分の力を出し切るため繰り返し練習しました。

ほんばんまえ さいご はっぴようれんしゅう お あと ゆうしよく じゅうじかん す にちめ しゅうりよう
本番前最後の発表練習を終えた後、夕食と自由時間を過ごして1日目は終了。

ちか みせ はな ゆうしよく ご みやげ さが えき く だ
ホテル近くのお店「かつ波奈」さんにて夕食。その後、お土産などを探しに駅やモールへ繰り出しました。



5月24日(土) JpGU発表本番

8:45ロビー集合
いよいよ発表当日!
朝食後会場へ出発!!

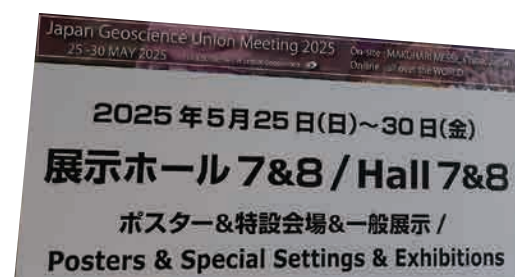
5月25日(土)

- 7:10 朝食
- 9:00 ホテル出発
- 9:15 会場到着
- 13:15 ポスター発表開始
- 15:15 ポスター発表終了
- 15:45 会場出発
- 16:32 東京駅到着
- 17:44 東京駅出発
- 20:33 八戸駅到着
- 20:37 解散



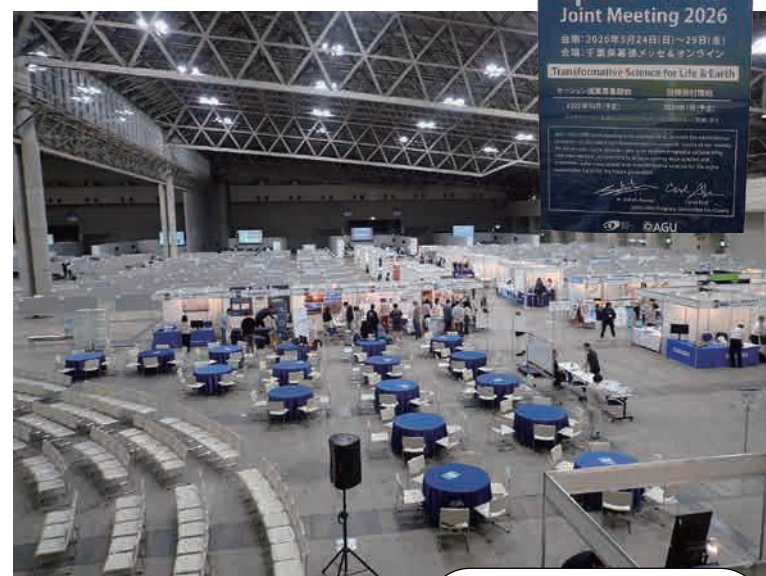
気持ちを込めて
ホテル前で円陣!!

会場となる
幕張メッセへ移動!!



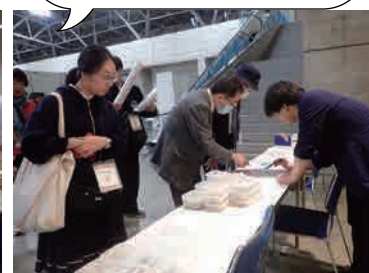
発表会場:幕張メッセ国際会議場

ぜんこく こうこうせい かんけいしゃ いりぐち なか そと あつ
全国から高校生や関係者が入口の中にも外にもたくさん集まっています。
にゅうじょう きんちよう あ
入場するだけでも緊張するほどひしめき合っていました。



自分たちのポスター発表の
場所を確認中!!

てんじ はい はっぴょうばしょ かくにん せつ
展示ホールに入るとまずポスター発表場所を確認し、設
えい おこな けいじょ かいし はっぴょう
営を行いました。ポスターを掲示後、13:15開始の発表ま
かいじょうない けんがく かくじ ちゅうしよく かいじょう さまざま
で会場内の見学や各自昼食をとりました。会場には、様々
けんきゅう かいほう おこな きぎょう きょうみ
な研究・開発を行っている企業のブースがあり、興味のある
けんがく
ブースを見学しました。JAMSTECのブースでは、関係者
かたがた てんしぶつ せつめい いただ
の方々に展示物などのご説明をして頂きました。



ポスター掲示!!

ポスター掲示後
発表時間確認!!

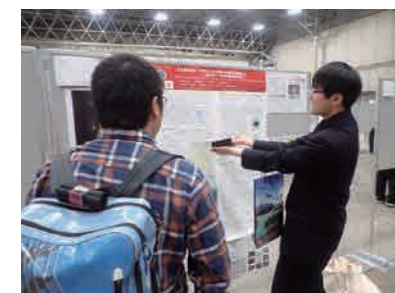
なんと!!京都の高校の生徒さん
達に声をかけてもらいました!
こんな時の為に、各自用意して
いた名刺をお渡ししました。
高校生同士が自ら交流する良い
時間に!!



川口さんと平さん、
スイッチON!
熱心な解説を
始めました。



ポスター発表開
始前ですが、興味
深くポスターを
眺める方が!!



以前JAMSTECさんと通信し、画
面越しに質疑応答をする企画が
開催されました。その際平さん
の質問に答えて下さった方とお
会いすることが出来ました!



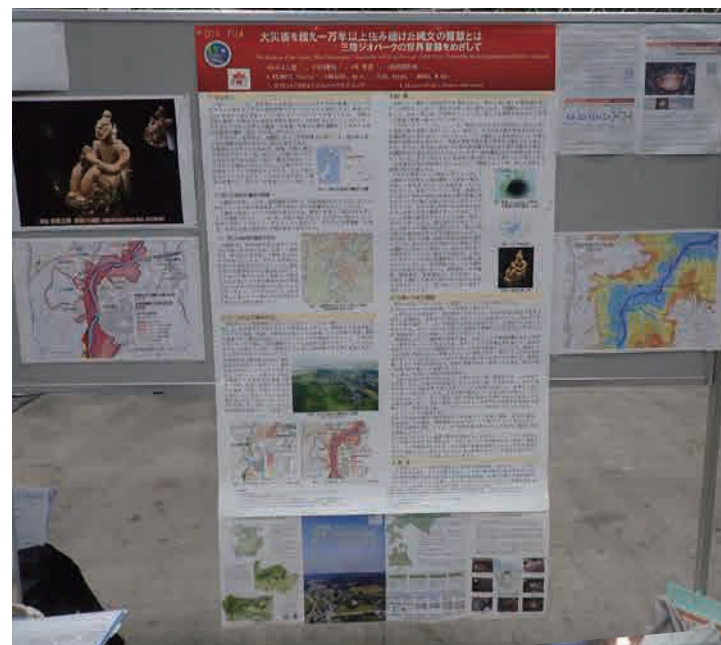
ポスターコアタイム・13:45~15:15

かいしえ いろいろ かた はっぴょう き くだ かいしご ひと と だ
開始前から色々な方が発表を聞いて下さいました。開始後も人が途絶える
ことなく、時間が過ぎるほど訪れる人は増えていきました。

〇11-P34『大災害を乗り越え、一万年以上住み続けた縄文の知恵とは ～三陸ジオパーク の世界ジオパーク登録を目指して～』

発表概要

ほん ねん さんりく けんきゅう と く
本クラブは2018年より三陸ジオパークの研究に取り組
み、魅力的で意義あるジオパーク活動の在り方を探り提
案してきた。2024年にはジオパーク内のジオ・文化サイト
であり世界文化遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」に含
まれる是川石器時代遺跡を対象に研究を行った。同遺跡
は、縄文草創期から弥生時代まで1万数千年以上にわたり
人々が住み続けた場所であり多くの遺構・遺物が出土し
ている。本研究では縄文人が環境変動にどう適応し、災害
を乗り越えてきたかを探った。特に、河川流域における生
業や土器様式の変化と関わる十和田火山の噴火、高度な
技術と精神性を示す漆製品や土偶に着目しそこから見え
てきた縄文の知恵について報告する。



笑顔で堂々と
説明していました！
努力と練習の成果!!

杉本さんと岩岡さんは自由時間中にいろん
なブースなどを巡りながら、発表を見に来
ていただくよう宣伝をしてくれました!!



17:44東京駅出発



発表終了後、東京駅で1時間ほど自由行動、その後、夕食
を新幹線で摂り、八戸に帰ってきました。会員の親御さんが
改札前でお出迎えして下さい、改札をくぐった時、無事に終
わったことを実感して緊張がほぐれました。



たんけんクラブ活動でお世話になっております
JAMSTEC理事小平秀一様のご挨拶に!!

発表が終わるたび、「あの部分をもう少しうまく説明できたかも」「こんな質
問がきて焦った」など、反省点を自分達で共有し合う姿が見られました。発表
をしていくうちに少しずつ自信がついてきたようで、4人とも自分の思い通り
に伝えられることを楽しんでいるようでした。



本発表にあたり、御支援・御協力をいただきました国立研究開発法人海洋研究開発機構(JAMSTEC)、
八戸市、八戸市教育委員会、JAMSTEC研究成果活用促進八戸市議会議員連盟、
多くの関係機関の皆様へ心より感謝申し上げます。
また、発表の資料作成等ご指導下さいました、たんけんクラブ・シニア 高橋晃会長、
井上貫之副会長、横葉和浩副会長、本当に有難うございました。
さらに、大会参加にご理解御協力をいただきました参加メンバーの各学校の皆様、
ご家族の皆様、誠にありがと有難うございました。
多くの研究者や専門家の皆様から寄せられた意見や質問に生徒自身で答えを導き出し、
取り組むことにより、会員一人一人が新たな知見と広い視野を持つことができる大変貴重な機会となりました。
マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ・シニアとしては、
この素晴らしい体験の機会を与えていただいた関係者の皆様に感謝申し上げます。
来年も本大会への出場を継続して挑戦して参りたいと思います。
将来の海洋研究開発に関わり海洋の未来を切り拓く人材育成を目指して、
マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ活動の更なる充実に向け、スタッフ一同さらに精進してまいります。
今後ともご指導ご協力の程宜しくお願い申し上げます。



すぐき菜と犬から生まれた地球犬(ちきゅうけん)

腹が減っては戦ができません!!
満腹になるまで♪

熱心に、丁寧に、ずっとご指導ありがとうございます!

美食を楽しんでいます!



おお!!



なんだ?
この余裕?

縄文人が対応した災害について、土砂崩れは想定していますか?

たんけんクラブではお世話になりました!

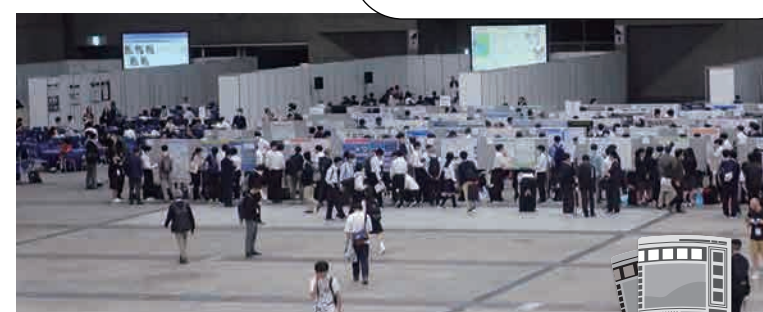
土砂崩れは想定していませんでした。新しい気付きになりました。ご指摘ありがとうございます!



みなさん、本当お疲れ様でした。素晴らしい発表だったと思います。



探査船「ちきゅう」発見!!



令和7年6月3日(火) デーリー東北 掲載記事



令和7年6月4日(水) 東奥日報 掲載記事

